

1. 単元指導計画（全体時間 7時間）

情報A 情報を収集して、読み解いて発信しよう

「情報の収集・発信と情報機器の活用」

(1) 情報の検索と収集・・・・・・・・・・2時間

情報通信ネットワークやデータベースなどの活用を通して、必要とする情報を効率的に検索・収集する方法を習得させる。

(2) 情報の発信と共有に適した情報の表し方・・・2時間

情報を効果的に発信したり、情報を共有したりするためには、情報の表し方に工夫や取決めが必要であることを理解させる。

(3) 情報の収集・発信における問題点・・・・・・・・・・(本時2/3) 3時間

情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題及びそれを解決したり回避したりする方法の理解を通して、情報社会で必要とされる心構えについて考えさせる。

2. 本時の目標と展開（本時（3）の活動の2時間目）平成21年10月、生徒数25名

情報の伝達手段の信頼性、情報の信憑性、情報発信に当たっての個人の責任、プライバシーや著作権への配慮などを理解できる。

- ・ プレゼンソフトや電子情報ボードを使って情報の発信ができる（スキル）
- ・ 映像教材などを通じて著作権のしくみや内容が理解できる（モラル）

3. 学習活動、機器教材教具（生徒の活動）指導上の留意点

実施単位	50分		
テーマ	メディア表現と著作権を考えてみよう。		
	学習活動	生徒の活動	
	<p>【導入】前回の復習。</p> <p>【展開1】10min. ボックス情報。第14回の説明を見ながら内容をすすめる。</p> <p>【展開2】 自分の意見や考えをプレゼンソフトでスライド4枚程度にまとめる。作成できたら、提出ファイルに提出。</p> <p>【展開3】 グループ内、もしくは全体の前で発表する。（評価シート記入）</p>	<p>・自分のワークシートを見る。</p> <p>・第14回のワークシートを記入しながら見る。</p> <p>・キーワードを押さえる。</p> <p>・自分の意見・感想を記入する。</p> <p>・イメージツリーやコンセプトシートを用いて作成する。</p> <p>・2～4人一組となり、グループ単位でプレゼン発表をする。発表後、グループ内で議論しながら、お互いにテーマの理解を深める。</p>	<p>・デジタルメディアのことを特に復習するようにする。</p> <p>・途中で番組をとめて答えの確認も適宜する。</p> <p>・語句の補足説明を実施する。</p> <p>・適宜解説を入れるようにする。</p> <p>・イメージを膨らませることのサポートと枚数は多くなく、見やすく作成させる。</p> <p>・成果物を発表させることで学習の共有を図る。</p> <p>・共通点、相違点を見つけ思考力をつけさせる。</p> <p>・作業に困難のある生徒に個人的に支援する。</p>

<p>【展開４】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語に翻訳する。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議の紹介をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に英語でまとめる。 ・将来の社会生活への影響を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英訳の時間は、適宜指導する。 ・制限時間内に完成させる。 ・各発表者のテーマを解説し、様々な考え方があることを指摘する。 ・自宅でも番組を視聴できることを伝える。 ・次回海外に発信することを伝える。
---	---	--

4. 使用教材

教材 <http://www.nhk.or.jp/10min/joho/ja/frame.html>

あらすじ：番組の内容を知るのに役立つ。番組のどこに重点を置くか、どんな補足が必要か、生徒たちが事前に考えられるようなシートを用意します。

参考 アメリカのニュージャージー州にあるメモリアル・ミドルスクールとの文化交流のページ 自己紹介からはじめて文化交流も実施しています。

テレビ会議も何度か実施して、その中で一部モラルに関してもテーマに取り入れています。

<http://www.japanusa-teentalk.net/mytownclips2010/>

補足

2008年度の取り組み（下記参照）の発展として2009年度は、発展として3つのことを実施する。校内での情報科の教員の連携を図り、高2全クラスで学校放送番組（NHK教育「10min. ボックス情報.」）をもとに指導を行う。また著作権の指導を実施する。また海外（アメリカとシンガポールなど）の学校と情報に関するテーマで意見交換を実施する。

参考：2008年度の取り組み

高度に発達した情報化社会は、利用者により効果をもたらす光の部分と、利用者には害をもたらす影の部分がある。このように新しいメディアが独自の社会を形成しつつある一方、教育現場における情報関連科目では、これらのメディアは適切に取り上げられているだろうか？インターネットや携帯電話など日常生活と学校での生活環境の間にギャップが深まってきていることは否定できない。これらのギャップを正しく、ルール・マナー・モラル（特に著作権）という考え方を学校放送番組（NHK教育「10min. ボックス情報.」）をもとに指導を行う。また、学んだことをもとに国内・国外の交流学習へとつなげる。

授業実践による研究成果の内容

本実践では“学習目標”として以下の5項目を挙げる。

- (1) 学校放送番組（NHK教育「10min.ボックス情報.」）の視聴をもとに、インターネットや携帯などで身近となった情報通信ネットワークについて、その仕組みを理解する。
- (2) 学校放送番組（NHK教育「10min.ボックス情報.」）の視聴をもとに、現在の情報通信ネットワークを取り巻く危険や懸念などを知り、情報セキュリティの重要性を理解する。（保護者も含む）
- (3) 学校放送番組（NHK教育「10min.ボックス情報.」）の視聴をもとに、情報通信ネットワークを利用する上で必要となる、ルール・マナー・モラルについて理解を深める。（保護者も含む）

(4) ネットワークリテラシーや、主体的に学ぶ意欲、問題発見・解決能力を具体的な海外との交流学习などを通じて身に付ける。

(5) 大学の学生や外部の講師との交わりの中から、情報活用の実践力を高める。

年間指導計画における位置付け

普通教科「情報A」の指導要領における「(4) 情報機器の発達と生活の変化」の単元の中で、日々進歩を続ける携帯電話を中心としたモバイル通信メディアに焦点をあて、通信の仕組み、電子メールの仕組み、携帯電話がインターネット網につながる仕組みなど、情報通信ネットワークの仕組みの理解を基礎知識とした上で、社会生活の中でのネットワーク利用の利便性、新しい技術、活用の際の危険性について学習する。またその中で、わたしたちは今後新しいメディアとどのような関係性を持ちうるのか、マナーやモラルについても考えさせたい。

また、授業の中で情報通信ネットワークシステムが安全に運用される基盤である情報セキュリティに関して、公共ネットワークの危険さと現在の懸念点を理解し、安全なコンピュータ環境についての理解を深める。将来の情報産業の担い手に、知的財産立国たる日本のセキュリティレベルを向上させる意識を醸成する。また学んだことを実践する交流・プロジェクト学習を実践する。

(1) 情報モラル関連の指導状況

○著作権に関する指導、肖像権・個人情報の保護に関する指導

○コンピュータ犯罪に関する指導（ビデオ・講演会など）、ネチケットに関する指導（メールや掲示板など）、携帯電話に関するモラル、コミュニケーション能力に関する指導 など

(2) その他特記すべき事項

羽衣学園高校は 文部科学省ユネスコ国内委員会のユネスコスクールに加盟しており、海外との交流をさかんに実施しており、メールやTV会議などのやりとりも多い。

実施スケジュール（教科 情報A）（高校2年生）週2時間 2単位

高度に発達した情報化社会は、利用者により効果をもたらす光の部分と、利用者に害をもたらす影の部分がある。このように新しいメディアが独自の社会を形成しつつある一方、教育現場における情報関連科目では、これらのメディアは適切に取り上げられているだろうか？インターネットや携帯電話など日常生活と学校での生活環境の間にギャップが深まってきていることは否定できない。これらのギャップを正しく、ルール・マナー・モラルという考え方を学校放送番組（NHK教育「10min. ボックス情報」）をもとに指導を行う。また、学んだことをもとに国内・国外の交流学习へとつなげる。

1学期 情報機器の使い方を確実に習得し、機器に慣れよう

○キーボード練習を確実にする・ネットワーク利用のきまりを学習する

○データ集（CD-ROMなど）やインターネットなどを利用して情報を自分で収集する

○BBSの使い方とマナーを知る

○大阪府警察による全校対象の講演会実施

○ハイテク犯罪室作成ビデオ 情報の授業で学習する。

○情報を目的に応じて検索し、収集した情報の中から目的に合った情報を選択する

（自己紹介をWordで実施、 将来の仕事に関して PowerPointで作成）

- 情報モラル指導補助教材として、Webによる提示教材や模擬体験教材、映像教材などを利用する。
- 校内でも情報モラル・情報セキュリティに関する研修などを実施する。

2学期 自分達で情報を作成し、発表しよう

- スキャナやデジタルカメラ等の周辺装置を利用し、文章と画像等を組み合わせた資料を作成する。
- 発表資料をまとめる。（海外に発信するためプレゼンテーション作成）
- 電子メールを利用した他校との交流活動をはじめめる。
- 外部講師による授業実施 PART1
指導計画
第1時 情報通信ネットワークを支える仕組みとは
第2時 情報セキュリティはなぜ重要なのか
第3時 情報通信ネットワークを安全に使うために～ルール・マナー・モラルについて
- 交流学习の準備をはじめめる。

3学期 外部交流を盛んにしよう ●交流学习

- インターネットなどの通信を利用して情報を交換する活動する
- Webページ・電子メールで情報を発信するためのマナー 個人情報、著作権の保護を再度学ぶ
（情報モラル指導補助教材として、Webによる提示教材や模擬体験教材、映像教材を利用する）
- 画像や動画を利用して表現する活動をする。
- TV会議を利用した他校（海外含む）との交流をする。
 - ・プレゼンテーションソフトを利用して発表する活動をする
 - ・テーマの設定からパネルディスカッションやディベートの実施までネットワークを活用する